

不幸な犬をなくすための啓発活動

ボランティア団体 犬のM基金

ボランティア団体犬のM基金は、捨て犬や多頭飼育崩壊などによって行き場をなくした犬たちの支援を行っています。野犬・野猫の避妊・去勢手術から病気治療、里親探しなど、その領域は多岐に渡り、行政や他団体と共同で活動をしています。さらに、地域のコミュニティで定期的に譲渡会も開催し、里親探しだけでなく、捨て犬や猫たちについてより多くの人々に知ってもらうための啓発活動にも精力的に取り組んでいます。

【活動背景】

近年メディアでも度々取り上げられているように、ブリーダー崩壊、生活困窮者や高齢者の一人暮らしによる多頭飼育崩壊が増加傾向にあります。そうした場所から保護された犬たちの多くは、老犬や病気を放置されています。さらに地域の動物管理センターはキャパシティを超えており、保護されずにいる野犬たちは獣害扱いされ銃殺される事例も増えています。

【活動目的】

野良犬・捨て犬の保護、里親探しをはじめ、避妊・去勢手術の支援や多頭飼育現場の適正な飼育の指導、保健所や振興局の収容犬の引きとりなどが主な活動です。加えて、「飼育放棄を未然に防ぐ」ための啓発活動にも力を入れるため、オリジナルグッズ、啓発カレンダー等の制作・販売やチャリティーイベントの開催、保護現場や保護時の犬の写真を用いた展示会なども計画されました。

【助成金の用途・活動結果】

助成金は、保護犬のフードなどの消耗品や医療費、およびドックトレーナーによる精神的治療費、啓発活動で用いるテントやカレンダー制作に活用しました。多頭飼育現場や野犬を含め2023年度累計140匹の犬を引き取り、4月の報告時点でそのうち133匹の譲渡が成立しました。さらに、チャリティーイベントやドックトレーナーとの勉強会も開催しました。



【団体からのメッセージ】

野犬保護、多頭飼育崩壊現場では、成犬の避妊去勢問題を迅速に着手すること、人慣れるまでに有効な方法であるドックトレーナーによるアドバイス、遺伝的疾患の治療を含め、保護数が増えることに伴い多くの医療費やトレーニング費用の負担、それを叶えるのには、資金の確保が高いハードルの一つでもあるため、皆様のご支援のもと、空腹を満たし病気の苦しみから解放される犬達を幸せな未来へと繋いでいきたいと思ひます。